

新しく発行された NHK 松本放送局のベリ

最近 NHK-松本放送局で新しいベリが発行されました。このベリは昔、NHK-北見放送局で発行したものと同じく完全なものです。私の知っている限りではこのような完全なベリを発行している日本の中波放送局は NHK-松本だけです。(NHK 尾鷲放送局でも、目下計画中だそうです。)ここ一・二年の間に、ほとんど全ての NHK、民放局がいわゆる QSL カードを発行するようになりましたが、これらの QSL カードは私達が考えるベリ(すなわち受信を証明するもの)とはほど遠いものです。

放送局でも多分に PR 的な目的のため、手紙をくれた人には漏れなく発行したり、放送局を見学に来た人達に渡したりしているようです。その結果、受信しないのにただ「QSL カードを送ってくれ」とか、「何時何分に貴局を聞きましたから QSL カードを送ってくれ」とかいう手紙がしばしば放送局へ舞い込みます。

今年の 3 月に信越地方、中国地方へ旅行した時、各地の放送局へ行って、聴取者からのレポートを見せて貰ったり、レポートについていろいろな話をしました。

聴取者からのレポートを見て感じたのは、受信内容を書かないでただ「QSL カードを送れ」という手紙が相当多いということです。ある放送局の人は「もうそろそろカードが変わったろう」というわけで、何度も同じような手紙を出す人がかなりいるらしいといっていました。また「中継局のカードも一緒に送って下さい」とか、「これこれの図案のカードを持っていませんので、そのカードを送って下さい」という手紙も多いそうです。

一部の人々は QSL カードをマッチのラベルや切手の蒐集と同じように考え、何種類持っているといって競争していますが、これはあくまで邪道で、QSL カード



受信報告

No.

貴局を下記の通り受信いたしました。

局名: 文化放送

コール・サイン: JOAR

Kc/S

周波数: 1130

受信日: 昭和33年3月2日

時間: 15.30 ~ 16.00 J.S.T.

番組: 15.30 機械鉄道「先進的運輸」

一名占星「東京駅開業 50 年から」 15.39

アトランティック放送はさる 28 日に放送した

ものです。...貴重な収集...「おきまの放送は文化放送です。」 15.39 コマニカル (タケダ) 1540 ナン

デー ウエスタン (東洋リーダー提供)

受信状態: SINPO 45554

使用受信機: ナショナル製 5100-S-1A

使用アンテナ: 室内型アンテナ

受信地: 前橋市内にて。

備考:

この受信報告が貴局と確認されたならば
「受信者名、受信日時等を記入して受信し
たことを確認する」旨を明記した受信証を
送って頂ければ幸いです。

図 1: 中波放送局へのリポートの一例

はもともと受信したことを証明するものです。それ故競争をするなら、何局聞いて何局からカードを貰ったといって競争して欲しいと思います。

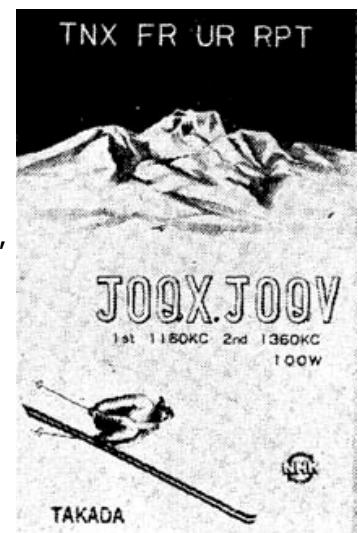
最近信越放送では、本局、中継局共通のカードを発行しましたが、その理由の一つは「中継局のカードも同封してくれ」という手紙があまりに多いからです。

レポートについては、放送局ではもっと詳しいレポートを望んでいます。私が見ても番組内容、受信状況、日時、局名、周波数、使用受信機、アンテナを記載したレポートは数えるほどしかありません。中波局へのレポートの例を挙げておきますから参考にして下さい。それとレポートの中で、受信状況に関する評価が非常に甘いような気がします。SINPO の表をよく読みかえしてから、評価するようにして下さい。

NHK の地方局の中には、普通のプログラムのレポートでは確認できないので、局名アナウンスを聞きとるか、ローカル・プロの時間に聞くか、それとも試験電波を聞いて欲しいという局があります。関東地方の NHK 局は大抵土曜日の午前 2 時半頃から、一週間おきに試験電波を出しています。

外国では、中波局でも NHK-松本放送局のようなカードを発行している局がかなりあります。日本の NHK でも、外国からくる JOAK などに対するレポートには、あの Radio Japan のカードを用いて返事をだしています。最近 Radio Nederland やベルギーの ORU が完全なベリを発行するようになったのも、あるいは Die Deutsche Welle が受信証の中でアマチュア用略語を使用するのをやめて、普通の言葉を使うようになったのも結局は聴取者からの要望が多かったためです。

日本の放送局の中でも、「貴方の受信報告を確認します」というハンコを作っている局があります。私達が強力に放送局へ希望をだせば、その希望がかなえられる可能性はかなり大きいようです。NHK-松本放送局で完全なベリ(受信証)を発行するようになった一つのきっかけは、この 3 月に放送局へ行って、完全なベリを発行するようにお願いしたことです。その他の放送局でも、希望が多ければ考慮するという返事をした局がかなりあります。



ただ一つ気になるのは、ある放送局が、「いま来ているレポートを詳しく調べると、本当に聞いたらしいと思われるレポートは4分の1もない。この局の放送が東京で、SINPO-55455で聞かれることはほとんど不可能なのに、そのようなレポートがある。あるいは、局名アナウンスを流さないのに局名アナウンスを聞いたというレポートもある。結局カードが欲しいのだろうが、こういう現状では、貴方の言うような完全なベリ(受信証)を発行しても無意味でしょう。」といったことです。

中波聴取者の皆さんか、一人でも多く完全なレポートを送るようになれば、NHK-松本放送局のように完全なベリを発行する放送局も段々増えていくでしょう。そうして大部分の放送局がそうなった時、私達の目の前には、単なるカード集めとは異なった楽しさが開けるでしょう。

PDF化にあたって

本PDFは、

『無線と実験』(1958年8月号)

を元に作成したものである。

ラジオ関係の古典的な書籍及び雑誌のいくつかを

ラジオ温故知新

(<http://fomalhaut.web.infoseek.co.jp/index.html>)

に、

ラジオの回路図を

ラジオ回路図博物館

(<http://fomalhaut.web.infoseek.co.jp/radio/radio-circuit.html>)

に収録してある。参考にしてほしい。